

陰圧型ベッドアイソレータ L I - 3 5

取扱説明書



株式会社 アイソテック

目 次

1. はじめに.....	1
2. 各部の名称と働き.....	2
3. 主な特徴.....	3
4. 運転の仕方.....	4
5. 組立て方.....	5
6. 注意事項.....	6
1. 安全にご使用していただく為に.....	6
2. 性能をより発揮する為に.....	6
7. 保守・パーツリスト.....	7

1. はじめに

この度は、弊社陰圧型ベッドアイソレータ LI-35をお買いあげいただきありがとうございました。
本装置を有効かつ安全にご使用していただくために、必ずこの説明書をお読みください。

ベッドアイソレータ LI-35のご使用に際しては、必ずこの説明書をお読みにになり、機器の知識・安全に対する情報、注意事項など習熟されてからご使用ください。

又、この取扱説明書は、お読みにになった後、ご使用になられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書では安全注意事項のランクを以下のように、区別してあります。

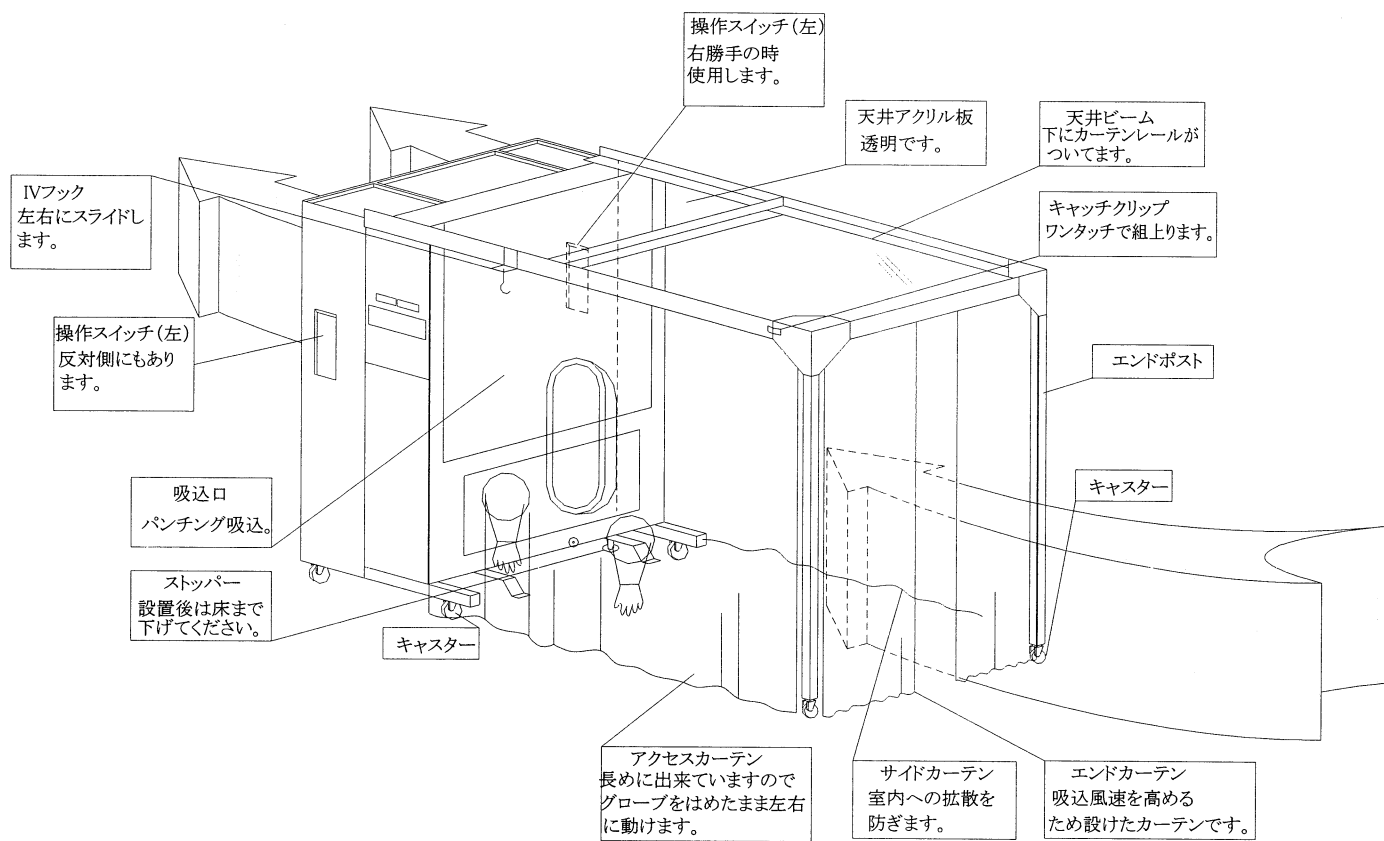
警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
-----	------------------------------------

注 意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害の発生が想定される場合
-----	---

△ 警告	
(1)	点検口を開いたままファンを運転しないでください。 回転するファンランナーに手が触れてケガをする恐れがあります。
(2)	吸込部のパンチング板は外さないでください。 内部の高性能フィルター（HEPA フィルター）を傷つけ、感染の恐れがあります。
(3)	点検口を開いて電装部を点検する場合は、コンセントを抜いてください。 電装部に触れて、感電する恐れがあります。
(4)	異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して販売店又は弊社までご連絡ください。 異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
(5)	修理は販売店又は弊社にご相談ください。 修理に不備があると、感電・火災・漏水の原因になります。
(6)	ユニットを改造しないでください。 感電・火災の原因となったり、感染の恐れがあります。
(7)	HEPA フィルターの交換は、弊社もしくは専門業者にご依頼ください。 誤った取付は、感染の恐れがあります。
(8)	組立・解体・移動する場合には、2人以上で取り扱ってください。 転倒する恐れがあります。
(9)	設置場所では、床ストッパにて確実に固定してください。 地震時に移動・転倒する恐れがあります。
(10)	運転ランプが消えていたり、運転音がしない場合は送風機が停止していることがあり、 感染の恐れがあります。

△ 注意	
(1)	濡れた手でスイッチを操作しないでください。 感電の原因になることがあります。
(2)	カーテンを開ける場合は、高速運転としてください。 外部への感染拡大の恐れがあります。

2. 各部の名称と働き



3. 主な特徴

1. ベット上は水平層流です。
ベッド上部は完全水平層流を成し、HEPAフィルターにより病源菌を完全に除去します。
2. 確実な汚染侵入防止
無菌病室の長年の経験により、最適な気流状態を作り出しています。治療過程の全てを考慮して、防御性能を高めた気流により隔離は万全です。
3. アクセスが容易です。
治療中の患者にとって介助者は常に2次感染の危険があります。この2次感染防止には、患者への接触（アクセス）機会を極力少なくすることが肝心です。
4. 風速が2段に切り替わります。
平常時は静かな低速で運転。治療時は高速とし、居住性と高い感染防御性能をもっています。
5. 低騒音です。
極めて静かな運転音（低速運転時：39 ホン）です。昼夜を問わずの運転ですので、患者の長期滞在には低騒音は欠かすことのできない条件です。

。

4. 運転の仕方

処置・作業を行なう時の運転

高速運転

治療処置・看護の動作を行なう時は、送風機スイッチを高速とします。

病院関係者や面会人が患者の近くで立ちまわる場合、2次感染を引きおこす可能性が大きくなります。このような時は、気流速度を 0.36m/sec に高め、ベッド内の菌が外部にでないようにします。特にアクセスカーテンを開けて直接接触処置を行なう際には、高速運転を行なうとともに滅菌された防護服・マスク・キャップ・手袋を着用して下さい。

アクセス域でリネン類の交換等をする時も高速運転としておきますと、速やかに発生塵が排出されます。

安静時の運転

低速運転

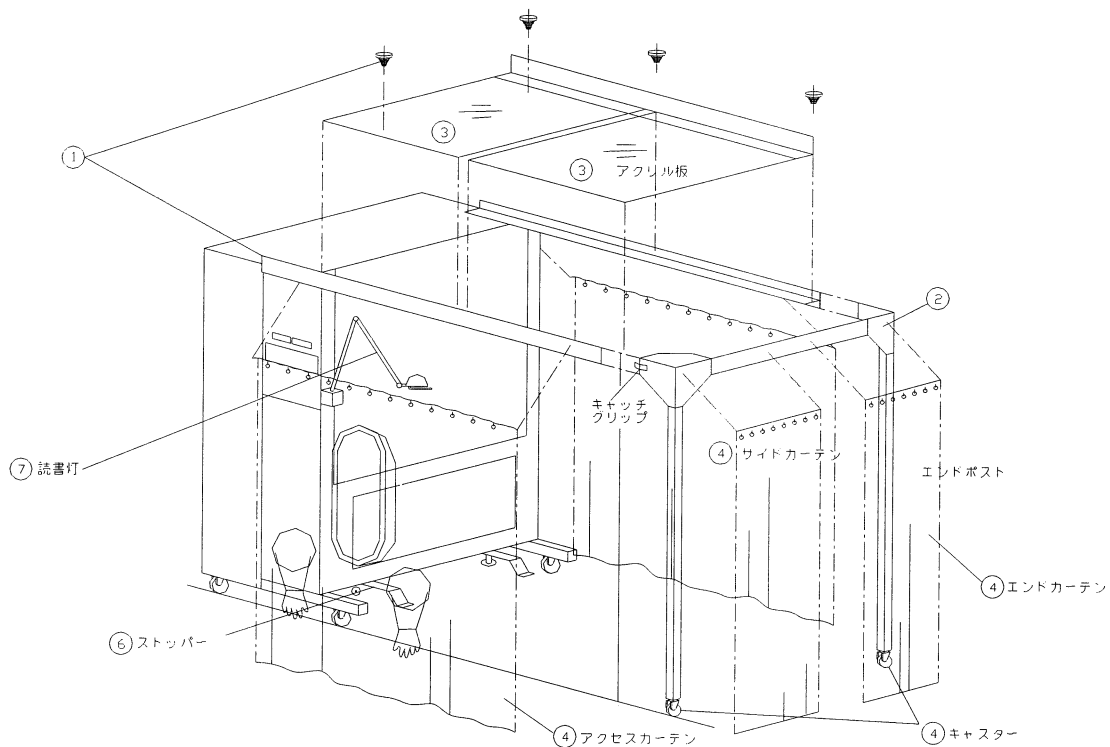
日常のほとんどは、送風機スイッチを低速とします。

低速運転下では風の流れによる患者の体感疲労もなくなり、運転音が 36 ホンと極めて静かになる為に安眠の妨げにもなりません。

ベッドアイソレータ内の気流は、 0.17m/sec に保たれ、安静下でもベット上の水平層流は確保されています。

5. 組立て方

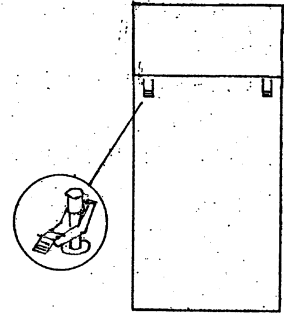
作業は必ず2人以上で行なうようお願い致します。



6. 注意事項

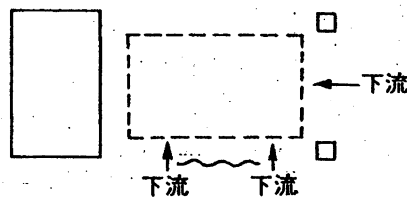
安全にご使用して頂く為に

- ストッパーをかけて下さい。
本体前側のストッパーを足で踏み、床まで下ろして固定してください。
- エンドポストのキャスターをロックして下さい。
- 点検扉を開ける時は
コンセントを引き抜いて下さい。
- 組立・解体・移動作業は2人以上で行なって下さい。
- 起動をする際は
高速で5秒以上運転してから低速へ切換えて下さい。



性能をより発揮する為に

- 清拭消毒による清潔な管理を励行して下さい。
患者退出ごとに、運転状態（高速運転）のまま、パンチング吸込口・天井・壁・アクセスカーテン・サイソカーテン・エンドカーテンを消毒液にて清拭消毒を行なって下さい。
- 1日1回床の清掃をして下さい。
床は塵が落下し、たまり易いところです。人の歩行とともに再飛散し易いので、ベッドの下やアクセス域の床を1日1回の割合で清掃して下さい。消毒液に漬けたモップで拭きます。
- サイドカーテン・エンドカーテンは閉めてお使い下さい。
サイドカーテン・エンドカーテンは閉めた状態で感染が防げます。。
- 患者に接近する時
必ずアクセスカーテンの外から接します。



- 患者は直接床におりないで下さい。
患者が床におりる時は専用のサンダルを履いて下さい。

7. 保 守

- 天井の上は時々拭いて下さい。

アクリル天井の上は塵が溜まり易いので時々拭き掃除をして下さい。

- 過電流トリップしたら

電流が流れ過ぎるとブレーカーがトリップします。送風機スイッチを停止した上で、点検扉内のブレーカーの黒い釦を押してトリップ状態を解除して下さい。運転をかけてみて再びトリップするようでしたら、回路上の故障ですので弊社まで御連絡下さい。

- HEPA フィルターの交換

使用状況によって異なりますが、交換の時期は差圧計にて判断して下さい。

（初期圧力の2倍が交換の目安です。）

- サイドカーテン・アクセスカーテン・エンドカーテンの交換

サイドカーテン・アクセスカーテン・エンドカーテンは、使用頻度が高い為に傷み易く、薬品消毒が重なると透明度も落ちてきます。消耗品ですので1年を目安に新品と交換して下さい。

- 送風機の交換

送風機の耐用時間は 25,000 時間です。長期連続運転に応える為に、この時間を超えた送風機は交換をお勧め致します。